

中央環境審議会自然環境部会（第40回）

議事要旨

審議方法：電子メールによる書面審議

議題：自然公園小委員会にかかる部会決定の変更について

審議結果：8月3日（月）に各委員に開催メールを送付し、電子メールにて24名の委員より回答を得た。8月12日（火）に回答結果を部長にご報告し、8月14日付けで部会決定を変更する旨了承を得た。

議事概要：下記のとおり。

中央環境審議会自然環境部会（第40回）議事概要

（議題「自然公園小委員会にかかる部会決定の変更について」に係る回答及び個別意見とその対応）

回答結果

了承する：24名

了承しない：0名

個別にいただいた御意見及びその対応

御意見	対応
自然公園等小委員会では、参考資料1の末尾にあるように、ウィズコロナ・ポストコロナの自然公園のあり方についても議論いただきたい。	ご指摘を踏まえ、今後の検討に当たっては、ウィズコロナ・ポストコロナの自然公園のあり方についても議論してまいります。
日本国内の国立公園をはじめとする自然公園は、生物多様性条約の愛知目標11の達成目標にカウントされている生物多様性保護区・保全区としての性格を持ち合わせている。国立公園の中でも、特別保護区コアゾーンは、特に保全効果が高い地域として、我が国での愛知目標11以外の他の目標の達成にも重要な役割を果たしていると考えられる。生物多様性の損失は地球規模でも、日本でも、止まる兆しは見えず、より一層の努力が必要である。今後の検討では、こうした視点も重要視していただきたい。	自然公園における生物多様性の保全は非常に重要な視点と考えています。ご指摘を踏まえ、今後の検討を進めてまいります。

<p>自然公園をグローバル・コモンズとして見直し、地元と一体となった管理・運用を考えるべき。エコパーク、グリーンツーリズムが参考になる。</p>	<p>地元と一体となった自然公園の管理・運用は重要と考えています。ご指摘を踏まえ、今後の検討を進めてまいります。</p>
<p>「制度」について議論できるようになることは、質の高い自然公園を実現する上で必要なことである。</p>	<p>質の高い自然公園の実現に向け、今後の検討を進めてまいります。</p>
<p>小委員会としては、「在り方」の調査審議が優先されるように思いますので、提案された第3項を第2項とし、第2項を第3項としてはどうか。</p>	<p>ご指摘のとおり「在り方」の調査審議は重要な事項ですが、概ね5年に1回程度の調査審議となるため、毎年の調査審議事項である区域の変更等を優先させ、原案のままとさせていただければと思います。</p>